

第1号議案

平成24年度 事業報告

2013. 5. 22

平成24年度前半も、世界的な経済不況のなかで日本の経済は低迷を続け、過度の円高もあってモノづくり機能が海外に比重を移し続けたが、昨年末に自民党安倍政権が誕生して以降、経済の回復機運が盛り上がってきている。そして、アメリカ経済の持直し感が強まっているが、中小零細企業には波及効果は及んでおらず、デザイン界においてもまだ打開の兆しは見えない。

当財団の平成24年度実施事業は、従来の継続事業を前提とした予算案に従って実施したが、年度後半には、新たな事業にも取り組んだ。

継続事業である、中堅デザイナーのスキルアップを目指す「デザインビジネス塾 co-design」、デザインを学ぶ学生のための「デザイン就業支援事業」は十分成果があった。

24年度のシンポジウムは、一般市民・サラリーマン向けの「デザインの力」と、デザイナー・専門職向けの「デザインの潮流」に分けて、反響は良かった。

一方、企業の管理職クラスがデザインを経営資源として活用できる能力を身につけて貰う、「デザインマネジメント研究会」は、応募が低調な状態が続いている。

「OSAKA STYLING EXPO 2012 living 部門」に参画したほか、大阪のデザイン界のポータルと成るべく当財団ホームページに情報告知機能を追加した。さらにメールマガジン等も含めて、大阪のデザインの発信力強化に努めた。

「大阪デザイン振興プラザの運営」においては、ATC内のデザインオフィスの受託管理とODPセミナーを毎月開催するなど円滑に実施したが、工房のインキュベーション施設入居率が低迷している。

財源的には、大阪市から受託した「デザインビジネスプロモーションセンターの運営」事業が年度途中においてもさらに見直しを強められ、対前年比839万円の減少となり、実施件数もその分減少したが、相談件数は4,000件近くをこなしている。特に、大阪のデザイン情報を紹介する冊子「DESIGN LINK OSAKA」が当初から予算無しとされ、24年度は発刊しなかった。(平成25年度はプロモーションセンター全体の受託額がゼロになり、当財団の独自事業として実施している。)

さらに、賛助員会費の減少等による歳入減に合わせて厳しい事業運営を進め、(財)JKAからの補助事業についてはシンポジウム開催場所を無料の施設に変更するなど、事業費総額自体の圧縮に努めた結果、単年度の収支としてはほぼ償う状況となった。

一方、保有していた日本国債を金利の高い日本国債に買い替えた際に、従前の含み利益が現金化されて、簿価との売却差額を得ることができた。年度後半においては、急激な円安が到来して、基本財産利息収入等が増加したほか、保有していた外国債の一部が額面金額で期限前償還されて、簿価との売却差額を得ることができた。

(従来、保有する外国債券が時価評価において9,557万円の評価損があったが、年度末時点では今回の円安で5,595万円の評価損に縮小している。)

一方、当財団の法人移行については、新公益法人移行に向けた実務者会議や臨時の理事会、評議員会を開催して、当法人の最終的な意思決定を行い、4月26日付で大阪府知事に一般財団法人化の認可申請を行った。

I. 総務に関する報告

1. 理事会・評議員会の開催

(1) 第82回理事会・第45回評議員会の開催

- ・ 日時 平成24年5月30日(水)午後3時00分～4時55分
- ・ 場所 ATC 大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム
- ・ 議案 ①平成23年度事業報告及び収支決算承認に関する件(理事会関係)
②平成24年度(財)JKAの補助事業の実施に関する件(理事会関係)
③平成24年度補正予算案に関する件(理事会関係)
④評議員の委嘱の承認に関する件(理事会関係)
⑤理事及び監事の選任に関する件(評議員会関係)
⑥役員を選任に関する件(理事会関係)
⑦アドバイザーの委嘱に関する件(理事会・評議員会関係)

【役員の登記】

平成24年7月13日付、理事12名を大阪法務局へ登記した。

任期 平成24年6月30日～平成26年6月29日

(2) 第83回理事会・第46回評議員会の開催

- ・ 日時 平成25年1月29日(火)午後3時04分～4時50分
- ・ 場所 ATC 大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム
- ・ 報告事項 ①(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会平成24年度第1回委員会報告
①JDF国際デザイン交流協会継承資産の資産運用について
②平成24年11月30日現在 時価評価後の貸借対照表
- ・ 議案 ①財団法人 大阪デザインセンターの一般財団法人への移行方針について(理事会・評議員会関係)
(1)一般財団法人への移行方針(案)
(2)基本財産の取崩し、移行後の事業内容について
公益目的支出計画(概要案)
(3)組織体制について
(4)定款変更について(概要案)
(5)今後のスケジュールについて
②財団法人大阪デザインセンターにおける最初の評議員の選任方法について(理事会関係)
③最初の評議員の選定委員会委員候補者について(理事会関係)

④最初の評議員の選任候補者について（理事会、評議員会関係）

(3) 第84回理事会・第47回評議員会の開催

- ・ 日時 平成25年3月28日(木)午後2時～3時30分
- ・ 場所 ATC 大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム
- ・ 報告事項 ①平成24年度実施事業の概要報告
②(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会平成24年度第2回委員会報告
- ・ 議案 ①平成25年度事業計画及び収支予算(案) (理事会関係)
 - (1) 事業計画の概要
 - (2) 一般会計収支予算案
 - (3) JDF 特別会計収支予算案
 - (4) コンテンツビジネス特別会計収支予算案
- ②船場特定資産の取崩し (理事会・評議員会関係)
- ③移行後の最初の評議員の選任 (理事会関係)
- ④一般財団法人移行に向けた認可申請(案) (理事会・評議員会関係)
 - (1) 移行後の実施事業の内容
 - (2) 公益目的支出計画 概要
 - (3) 平成25年度事業別収支予算案
 - (4) 移行後の定款案
- ⑤平成24年度事業計画の追加及び補正予算案 (理事会関係)

2. (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会の開催

(1) 平成24年度第1回委員会の開催

- ・ 日時 平成25年1月25日(金) 13:00～15:00
- ・ 場所 (財)大阪デザインセンター会議室
- ・ 報告事項 ① JDF 国際デザイン交流協会継承資産の資産運用について
② 平成24年11月30日現在 時価評価後の貸借対照表
- ・ 協議事項 ① ODCの一般財団化に伴うJDF継承資産の活用(案)
② 公益目的支出計画(案)
③ 法人移行の今後のスケジュール

(2) 平成24年度第2回委員会の開催

- ・ 日時 平成25年3月26日(金) 10:00～11:15
- ・ 場所 (財)大阪デザインセンター会議室
- ・ 報告事項 ①平成24年度 JDF 基本財産事業の実施概要報告
②(財)JKAへの補助金要望の経過
- ・ 協議事項 ① JDF 継承資産の取崩し、利息活用 年次計画(案)について

- ② 理事会に提出する「(財)JDF 継承資産を活用した平成25年度の事業計画及び収支予算(案)」の作成について

II. 事業に関する報告

1. 「大阪デザイン振興プラザ」事業

大阪デザイン振興プラザ（以下「プラザ」という。）が、大阪デザインビジネスの拠点としての役割を果たすため、次の事業を実施した。

(1) デザインビジネスプロモーションセンターの運営（大阪市からの受託事業）

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じた専門プロデューサーの派遣指導やデザイン事務所の紹介を行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。また、ホームページでの情報発信に加えて、大阪産業創造館と「ものづくりデザイン個別相談会」を実施するとともに、外部団体のイベントセミナーにおいて積極的に広報を行い、多くのマッチング事例をPRするなど、デザイナー紹介に関する相談を積極的に喚起した。予算規模の縮小により、プロデューサー派遣等の実施件数は、減少している。

① デザイン一般相談・利用

一般相談・利用件数 3,968件（前年度は 4,287）

(内訳)

デザイン一般に関すること	デザイナー紹介に関すること	プロデューサー派遣に関すること	データベースに関すること	その他	合計
1,637 (1,872)	1,372 (1,193)	524 (753)	334 (370)	101 (99)	3,968 (4,287)

② デザイナー・デザイン事業所の紹介 146件（前年度は 138）

依頼件数 146社（前年度は 138） 紹介件数 159社（前年度は 156）

(内訳)

プロダクトデザイン分野		スペースデザイン分野		コミュニケーションデザイン分野		合計
成約（開発中含む）	36	成約（開発中含む）	0	成約（開発中含む）	35	71
交渉中	5	交渉中	1	交渉中	8	14
不成約	23	不成約	4	不成約	47	74
合計	64 (62)	合計	5 (10)	合計	90 (84)	159 (156)

※成約件数には、1案件（1企業）と複数デザイン事務所とのマッチングもカウント

③ 専門プロデューサーによる派遣相談・指導

派遣件数 94 件（前年度は 140）

（内訳）

プロダクトデザイン分野	スペースデザイン分野	コミュニケーションデザイン分野
37 (52)	9 (13)	48 (75)

④ 大阪産業創造館との連携事業

- ・ものづくりデザイン個別相談会（共催） 1 回（前年度は 4 回）
平成 24 年 7 月 6 日開催 参加企業 6 社
マッチング事例パネルならびに成果品 10 点併設展示
- ・衛生技術展（出展） 1 回（前年度は 3 回）
平成 24 年 7 月 5 日開催 面談件数 7 件

⑤ 広報活動

中小企業に対して、デザインビジネスプロモーション事業を広く PR するため、大阪デザインセンター主催シンポジウムをはじめ、大阪デザイン振興プラザや大阪産業創造館、デザイン団体イベント等でのチラシやマッチング事例集の配付を行うとともに、ホームページで積極的に情報発信を行った。また、(社)西日本プラスチック製品工業協会セミナーでの案内や「ビジネス・エンカレッジ・フェア」に出展した。

(2) デザイン工房等の運営（ATC<アジア太平洋トレードセンター株式会社>からの受託事業）

様々な分野で活躍する新進デザイナー、クリエイターのインキュベート（育成）を目的に設置されたデザイン工房をはじめ、デザインギャラリー、ショーケース、デザインライブラリー、多目的ルーム、ワークルーム、交流サロン、会議室などの運営・管理や工房入所者の作品展を行い、デザイナーの育成と情報発信などに努めた。

① インキュベーションオフィス入所事務所数 10 事務所（前年度は 11）

② デザイナーオフィス入所事務所数 27 事務所（前年度は 25）

③ 第 17 回デザイン工房入所者作品展

インキュベーションオフィス入所者の活動・成果発表の場として開催した。

・テーマ 「笑顔×デザイン」

～明日の笑顔のためのデザインができること～

・期間 平成 25 年 3 月 15 日～17 日（3 日間）

・会場 大阪デザイン振興プラザ デザインギャラリー、ショーケース

・来場者 563 人

④ 特別記念講演

- ・テーマ 「昆虫とデザイン」
～昆虫から学ぶ新たなデザイン視点～
- ・講師 箕面公園昆虫館館長 久留飛克明氏
- ・日時 平成25年3月15日
- ・会場 多目的ルーム
- ・参加者 51人

(3) イベント企画、ライブラリー等の運営

(ATC<アジア太平洋トレードセンター株式会社>からの受託事業)

「大阪デザイン振興プラザ」が主催するイベント企画・実施のサポートをはじめ、デザインギャラリー、ライブラリー等の管理を一元的に行い、デザイン情報発信拠点としての役割を果たした。

- ① ODP 報告会 ・開催回数 10回 (前年度は 0)
- ② 企画運営会議 ・開催回数 2回 (前年度 10)
- ③ 企画推進会議 ・開催回数 11回 (前年度は 10)
- ④ 主なイベント開催状況 ・展示会 17回 (前年度は 9)
セミナー 23回 (前年度は 13)

《内訳》

テ ー マ	開 催 期 日	区 分	参加者
ソーシャルデザインカンファレンス エキシビジョン	平成24年4月1日～ 8日	展示会	268
ODPセミナー①商売とデザイン	平成24年4月27日	セミナー	62
ODPセミナー②グッドデザイン賞 応募説明会	平成24年5月17日	セミナー	42
第44回毎日・DAS 学生デザイン賞 金の卵賞入賞・入選作品展	平成23年5月31日 ～6月3日	展示会	322
ODPセミナー③不滅のロゴデザイ ン	平成24年6月21日	セミナー	67
ODPセミナー④第3回デザイナー のための2011独立サポートセミナー ①	平成24年7月28日	セミナー	26
ODPセミナー⑤第3回デザイナー のための2011独立サポートセミナー ②	平成24年8月25日	セミナー	49
新しいカタチ ファンタジア！展	平成24年8月29日 ～9月1日	展示会	1100

日本とフランスをつなぐ伝統とデザイン展	平成 24 年 9 月 6 日～11 日	展示会	84
日本とフランスをつなぐ伝統とデザイン マリー氏報告会	平成 24 年 9 月 7 日	セミナー	47
ODP セミナー⑥第 3 回デザイナーのための 2011 独立サポートセミナー③	平成 24 年 9 月 22 日	セミナー	50
ODP コワーキング①	平成 24 年 9 月 8 日	セミナー	9
木金館木工手づくり作品展	平成 24 年 9 月 15 日～23 日	展示会	478
U-30 建築展	平成 24 年 9 月 7 日～10 月 6 日	展示会	3422
U-30 建築展記念シンポジウム	平成 24 年 9 月 29 日	セミナー	525
建築パース展 2012 大阪展	平成 24 年 10 月 6 日～10 日	展示会	266
ODP セミナー⑦ものづくりのコミュニケーションツール	平成 24 年 10 月 26 日	セミナー	44
ODP コワーキング②	平成 24 年 10 月 13 日	セミナー	5
国際ポスター展	平成 24 年 10 月 25 日～31 日	展示会	185
関西オープンソース	平成 24 年 11 月 9,10 日	展示会・セミナー	200
ODP セミナー⑧製品のデザインを守るためには？	平成 24 年 11 月 27 日	セミナー	18
モデラーズエキスポ 2012	平成 24 年 11 月 23 日～25 日	展示会	2800
ODP セミナー⑨色で魅せる、色で伝える	平成 24 年 12 月 14 日	セミナー	67
ODP コワーキング③	平成 24 年 12 月 15 日	セミナー	8
鉄道模型ジオラマフェスティバル in ATC	平成 24 年 12 月 22 日、23 日	展示会	1117
紙技展 2013	平成 25 年 1 月 5 日～12 日	展示会	294
キリムとキャベ展	平成 25 年 1 月 5 日～20 日	展示会	88
ODP セミナー⑩パッと伝わり印象づける、チラシのデザイン	平成 25 年 1 月 25 日	セミナー	86

ODPコワーキング④	平成 25 年 1 月 26 日	セミナー	9
第 27 回毎日・DAS「銀の卵賞」 入賞・入選作品展	平成 25 年 2 月 1 日～ 4 日	展示会	177
ODPセミナー⑩表現力をアップす るライティング講座	平成 25 年 2 月 22 日	セミナー	74
2013大阪工芸協会展	平成 25 年 2 月 16 日 ～21 日	展示会	1800
JIDA60周年記念展	平成 25 年 2 月 24 日 ～3 月 2 日	展示会	622
JIDA関西文明倶楽部	平成 25 年 2 月 25 日	セミナー	49
(社)西日本プラスチック製品工業組 合セミナー	平成 25 年 2 月 26 日	セミナー	13
JIDA関西デザインフォーラム	平成 25 年 3 月 1 日	セミナー	76
ソーシャルデザインカンファレンス エキシビジョン	平成 25 年 3 月 23 日 ～31 日	展示会	306
ソーシャルデザインカンファレンス エキシビジョンDay 4	平成 25 年 3 月 23 日	セミナー	148
ソーシャルデザインカンファレンス エキシビジョンDay 5	平成 25 年 3 月 30 日	セミナー	97

③ 主な視察・見学状況 来館件数 10 件（前年度は 8） 来館者総数 93 人（前年度 83 人）

広東省政府経済情報化部	平成 24 年 4 月 9 日	7 人
IDKデザイン研究所	平成 24 年 4 月 9 日	10 人
ソウル産業通商振興院	平成 24 年 5 月 31 日	1 人
大阪市立大学大学院	平成 24 年 6 月 25 日	4 人
大阪成蹊大学	平成 24 年 6 月 27 日	1 人
大阪市立大学都市研究プラザ	平成 24 年 7 月 30 日	3 人
インド総領事館 ウッタープラデ シュ州	平成 24 年 10 月 9 日	8 人
大阪府立西野田工科高校	平成 24 年 10 月 23 日	45 人
デンマーク大使館	平成 24 年 11 月 7 日	12 人
鹿児島市経済局	平成 25 年 1 月 28 日	2 人

2. 人材育成(研修・教育)事業

(1) デザインビジネス塾 第 3 期開講 (財)JKA 補助事業) (JDF 特別会計事業)

デザインを通して、問題の発見・課題の解決が図れる人材、新しいビジネスを創造できる人材を毎年20名、5年間で100名を目標に育成するため、4つの分野で活躍する大阪の著名デザイナーを塾長に委嘱し、デザインビジネス塾—co-design—の3年目を実施した。

20名の応募を得て、入塾式は台風のために7月3日に順延し、6月26日の香港貿易発展局伊東所長の記念講演から開始した。今年は、大阪市が所管する、淀屋橋 odona の「アイスポット」に会場を移した。行政関係者、第1期、2期修了生、希望する市民も随時、傍聴した。

4人の塾長による講義と、塾外講師として、太刀川英輔氏からは「デザインとイノベーション」、上野祐子氏からは「デザインビジネスとマーケティング力」、金谷一朗氏からは「計算機科学をコアにしたデザイン科学」、山崎 亮氏からは「コミュニティデザイン」の特別講義を受けた。

今年はワークショップの日数を倍増して、9月から11月の8回に亘って、4班に分かれて、塾長ワークショップを行った。

10月2日に中間発表を行い、12月1日には4時間近くに及ぶ成果発表会が実施され、半年間に亘る長丁場のデザインビジネス塾を終了し、全員に修了証書を授与するとともに、ODCの人材BANKに登録された。仕事の都合で、2名は途中で辞退した。

- ・ 開催期間 平成23年6月26日(火)～12月1日(土) 全20日間
- ・ 会場 淀屋橋 odona 「アイスポット」(成果発表会はATC多目的ルーム)
- ・ 修了生 18名(受講者 20名)

総代塾長 坂下 清氏 ODC 前理事長
講義テーマ「求められる『design』とは～デザインの価値～」

塾頭 越田 英喜氏 ODC 理事長
進行コーディネーター

塾長 間宮 吉彦氏 空間デザイナー
講義テーマ「時代のムード、スタイル、場の雰囲気創造」

羽場 一郎氏 プロダクトデザイナー
講義テーマ「成果の上がるデザインクリエイティブ」

山納 洋氏 プロデューサー
講義テーマ「私的プロデュース論」

吉田 順年氏 クリエイティブディレクター
講義テーマ「コミュニケーションデザインの「次」は？」

【各塾の成果発表のテーマ】

間宮塾 御堂筋活性化
山納塾 高取山リブランディング

吉田塾 コミュニケーションデザインの「次」は？

羽場塾 OSAKA屋上根っとうわーく、大阪に自然の恵みを、緑を縁に

(2) デザインマネジメント研究会・フォーラムの開催（運用基金事業）

デザインマネジメントに対する理解を深め、デザインを戦略的に活用する総合的なマネジメント手法について学び、デザイン経営の実践を図る人材を育成することを目的に「デザインマネジメント研究会」を実施した。（過去、平成16年度、平成18年度、平成21～23年度にも実施してきた。）

研究会は5名の塾生による自己紹介と各自の研究課題についてのプレゼンテーションを皮切りに、坂下塾長の「デザインマネジメント入門」と題しての「日本におけるデザインマネジメントの展開について」、佐藤 典司氏（立命館大学 経営学部教授）による「情報消費社会のデザインマネジメント」、吉田 順一氏（大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 教授）による「マーケティング視点のデザインマネジメント」の特別講義を受けた後、「自社におけるデザインマネジメント課題について」グループディスカッションを行った。

第6回研究会は、「デザインマネジメントフォーラム」と題した公開講座として11月15日（木）に実施し、昨年度の受講生3名（辻村悟士氏（株アイディーエイ）、東川嘉孝氏（株式会社クボタ）、久保晶氏（株アーストレック）をパネリストに迎えた。65名の傍聴者が熱心に聴き入る中、パネリストからは、デザインマネジメント研究会参加後の認識や実践等、一年間の自社での具体的なプロセスや事例を発表し、デザインによる企業価値向上の取組の認識を深めた。

第7回は、坂下塾長による「Good Design Management 実現のために」と題しての講義をもとにディスカッションを展開し、最終日には、塾生による成果発表のプレゼンテーションと、修了証書の授与を実施し、24年度のデザインマネジメント研究会を終了した。

- ・ 開催期間 平成23年10月11日（木）～11月29日（木）
- ・ 会場 大阪産業創造館 会議室
- ・ 受講者 5名
- ・ 傍聴者 65名

(3) 学生のためのデザイン就職支援事業の実施（財JKA補助事業）（運用基金事業）

平成14年度から大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房会等の協力を得てインターンシップ支援事業に取り組み、平成19年度からは（財）JKAの補助事業として、「中小機械工業の付加価値向上に資するデザイン人材育成」の観点で実施してきた。

今回の実施にあたり、受入事務所の募集については、大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房会と、プロダクト系を中心に府下のデザイン事務所に呼びかけた結果、29社からの応募があった。また、学生募集対象校は、デザイン学科を有する専門学校、

短期大学、大学、48校に募集要項を配布し、募集に当っては、昨年度同様、本人の意向を生かすため、第3希望まで聴取した。応募者は、従来大幅な増加を見てきたが、今年度は91名(15校)と減少した(H23は110名(30校))。

実習生の選考に際しては、実行委員会でプロダクト系を重視しつつ、希望者の多い受入デザイン事務所を優先して選定し、応募者の応募動機や熱意などを勘案し、慎重に19名を選考した。

実習については、昨年度14日間で実施したが、財政上の問題もあり3日短縮の11日間とした。実習終了後、インターンシップで得た内容等について感想文の形で提出を求めた。また、受入事務所についても、実習生の成長を評価する目的で、デザインスキル等について報告を頂いた。

そして、インターンシップ終了後、実習生と受入事務所の方々に集まっていただき、成果等を語り合う「座談会」も開催した。

- ・ 実施期間 平成24年7月17日(水)～9月30日(日)のうち11日間
- ・ 実施場所 大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房内デザイン事務所
及び大阪市内・近郊のデザイン事務所
- ・ 受入事務所 19社
- ・ 実習生 19名(大学院1名、大学13名、デザイン専門学校5名
男子6名、女子13名)

○ 座談会

- ・ 開催日時 平成23年9月27日(木)午後3時から5時
- ・ 開催場所 大阪デザイン振興プラザ・多目的ルーム
- ・ 参加者 実習生8名、受入事務所13名

(4) 大阪市とパリ市とのデザイナー交流事業の実施(大阪市からの受託事業)

クリエイティブ産業の振興を図り、若手デザイナーが世界的視野で活動できるよう応援し、人材交流を通して大阪のデザイン力を世界に発信するため、クリエイティブ・デザイン分野の世界的先進都市であるパリ市と大阪市の若手デザイナーの人材交流を実施した。

派遣については、(株)タピエの石山 暁さんが23年度内にアトリエ・ド・パリに派遣されて帰朝し、帰国報告会も終えた。

受入れについては、23年度に受入を開始して、24年9月まで、専門技術者への取り次ぎなど全般的な支援を行った。

・ パリ市からの受入者

マリー＝オロル・スティッカー＝メトラル (Marie-Aurore STIKER-METRAL)

パリ市在住の家具等のプロダクトデザイナー

- ・ 受入れ期間 平成24年3月2日(金)～9月24日(月)

- ・受入先 大阪デザイン振興プラザ ODP
- ・テーマ 日本の伝統的な甲冑の製法技術を学び、家庭用品を開発。
- ・活動報告会 平成 24 年 9 月 7 日(金) 18:00~19:30 ODP
- ・作品展示 平成 24 年 9 月 6, 7, 10, 11 日 11:00~17:00 ODP

(5) デザイン・コンテンツビジネス実践事業

緊急雇用創出基金事業（震災等緊急雇用対応事業）

当センターと 9 社のデザイン系企業が JV を組み、大阪府が公募する事業にプロポーザル提案し、採択された。デザイン系の求職者を 10 名、「地域人材訓練生」として雇用して、OJT（職場内訓練、業務遂行を通しての訓練・教育）と OFF-JT（職場を離れての訓練、座学を中心とした訓練・教育）を効果的に組み合わせ、産業のニーズに応じた人材を育成する。デザイナーのスキルアップを図るとともに、短期の雇用・就業機会を提供し、これらの方々の生活の安定及び次の雇用の安定の一翼を担う。

研修生に係る人件費（給料他）、研修指導者の人件費の一部、OJT、OFF-JT 等に必要な研修費等は大阪府からの委託費でまかなう。

原則 1 年間(h25. 3. 1~h26. 2. 28)の事業。当センターが受託者代表となる。

(6) 産学連携デザイナー育成プロジェクト 2013

A T Cとの連携により、デザイン専門学校生・大学生とものづくり中小企業の出会いの機会を提供して、学生には生産現場でのデザイン開発体験を、企業には若い人の斬新なアイデアの導入を促す。

企業 10 社と、学生 58 名の応募があり、グループに分かれて、企画、提案、制作の活動中である。今後、デザイン提案を行ってもらう。

参加企業募集 h24. 12. 20~1. 21 学生募集 h25. 2. 15~3. 15 マッチング
会 4. 13 学生の企業訪問 4 月下旬 プレゼン① 5. 11 プレゼン② 5. 25
最終プレゼン 6. 15

3. 情報の発信・調査事業

(1) デザイン情報の発信、ホームページの充実

経営資源としてのデザインの重要性を広く PRするとともに中小企業におけるデザイン活用促進の一助とするため、企業経営におけるデザイン開発事例、優れたデザイン事務所や業界団体の取組みなどを紹介し、さらには学識経験者や専門性の高いデザイナーによるデザイン諸問題への提言など、ホームページなどを活用してデザイン情報提供を幅広く発信した。

特に、当財団のホームページが、関西のデザイン界の情報交流の出会いの場にな

れるように検討を進め、ヘッドラインに、「KANSAI DESIGN INFO.」の見出しを6月1日から設置して、デザインコンペ、デザインセミナー、デザインイベント、人材募集など、関西の団体、企業のデザイン情報を幅広く紹介した。(h24年度29件)

さらに、平成25年1月9日からはfacebook を開設して、主催行事を中心に、デザイン関連情報を迅速に発信しています。

(2) OSAKA STYLING EXPO 2012 LIVING への参画 (JDF 特別会計事業)

本事業は、大阪・関西で活躍するプロダクトデザイナー等が創り出す商品を選定・編集し、大阪らしいライフスタイル「OSAKA STYLING」として情報発信することにより、消費の刺激、消費者起点の商品開発、新進クリエイターの発掘・育成等に資するものである。

大阪・関西の中小企業やプロダクトデザイナー等から公募した中から、“STYLING EDITOR”が選定・編集した優れたデザインのリビング用品の展示・販売イベントを実施した。

- ・ 名 称 OSAKA STYLING EXPO 2012 LIVING 部門
- ・ 募集テーマ “OSAKA STYLING” ～OSAKAN VALUE～

大阪人の価値観に調和した、優れたデザインや新しいライフスタイルの提案で毎日に生活を彩るプロダクト

- ・ 開催日時 2012年5月9日(水)～5月14日(月) 10:00～20:00
- ・ 場 所 高島屋大阪店 7F 催会場(大阪市中央区難波5-1-5)
- ・ 来場者数 約2万人
- ・ 参加費 無料
- ・ 参加企業 応募64社、出展17社

アトリエ May、うたたね、家具工房ラフト、こころや(株)、SASAWASHI(株)、サンワード(株)、スタジオヤマノ、(有)セメントプロデュースデザイン、(株)武市、(有)種村建具木工所、D×K with (有)ジーティオー、ニチレイマグネット(株)、(株)飛行船スタイル、(株)ブリコラージュ、(株)ペーパーワールド、MASAKAZU HORI DESIGN、〈特別出展〉(株)タピエ

- ・ スタイリングエディター

植木 啓子 (サントリーホールディングス(株) サントリーコレクション学芸員)

(3) 大阪デザインセンター中期ビジョン構想委員会事業

平成22年度に、独自のデザイン選定事業の構築に取り組むため、「Innovative Good Design Award 選定事業」運営・検討委員会(仮称)(検討委員:嶋崎 直氏《日刊工業新聞 広島支局長》、下川 一哉氏《日経デザイン 編集長》、竹川 智子氏《株式会社フラン 代表取締役》、吉田 順一氏《大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授》、吉田 三千代氏《サンケイリビング社 企画開発部 部長》)を設置し、様々な角度から検討を行ってきた。

そして、23年度は大阪デザイン賞実行委員会を開催するとともに、プレイベントとして、「よりよい暮らしのためのデザイン」をテーマに「デザインシンポジウム」を9月15日に開催した。

委員会では、単に表彰するだけではなくて、事業として成功するための支援策の必要性が指摘され、大阪デザイン賞ありきではなくて、評価・顕彰制度と産業振興との一体性を再度議論する必要があるとされた。

そのためには、大阪のデザイン界において、当財団が何に重点を置いて活動すべきか、選択と集中の事業見直しが不可欠であるので、5年程度の中期ビジョンを委員会において検討し、合わせて、当財団の財務基盤のあり方についても検討することとした。

そこで、大阪のデザインに関わる人達が、認識を合わせ、共に取り組んで行けるものが無いのか、忌憚なく話し合いを持ちたいとして11月21日（水）に、「デザイン団体代表者懇談会」を呼びかけたところ、20団体が参加した。

まず第一部で、近畿経済産業局から近畿におけるデザイン戦略の講話があり、「クリエイティブ産業アクションアイデア集” CreativeX”」が発表された。

第二部では、意見交換会が持たれ、各団体ともに、厳しい状況ではあるが、何らかの共同の取り組みが必要であるとの共通の認識が得られた。そして在阪のデザイン団体のまとめ役として大阪デザインセンターへの期待や責任を述べる意見が多く出され、団体間、官公庁との連携の必要性を確認した。

また、個別意見としては、B to B対応から B to C 対応になる消費者目線の案件が増加してきていることや、素材 × デザイン × 加工 × 流通を体験できることによりクリエイティビティに富んだデザインが可能になるという意見、実際の案件はカテゴリを超えたものが多く若いデザイナー達はカテゴリを超えたデザインセンスを持っているという意見、高齢化社会における杖や歩行補助車などのユニバーサルデザインのテーマを各デザイン団体が協同して取り組んで行きたいなどの意見が出された。

(4) シンポジウム「デザインの力」の開催

((財) JKA 補助事業予定) (JDF 特別会計事業)

デザイン力とは問題点の抽出力、解決策の発想力、具現化力、全体を通じての問題解決力、ソリューションだということの認識がまだ浅いと思われる。デザインは企業ブランド戦略、イメージアップの重要なツールであるということについてデザイナーをはじめ企業経営者などに理解を深めるためのシンポジウムを開催した。

基調講演に経済産業省商務情報政策局 クリエイティブ産業課 デザイン政策室室長補佐の外山雅暁氏をお迎えし、クール・ジャパン戦略やデザイン政策について詳しくお話しいただいた。

また、第2部のパネルディスカッションでは、シャープ株式会社 デザインセンター所長の林 良三氏、Kanae Design Labo 代表の塚本 カナエ氏、そしてコーディネ

ーターとして当センター理事長の越田 英喜氏をお迎えし、デザインにどのような力があるのか、商品が売れる要素にデザインがどの程度かかわっているのかなど、参加者の質疑をふまえながらディスカッションを行いました。

- ・ 名 称 シンポジウム 「デザインの力」
- ・ 開催日時 平成24年9月29日(土) 午後1時30分から4時30分まで、
- ・ 場 所 大阪市立中央図書館
- ・ 参加者 140名
- ・ 参加費 無料

(5) ユーザーと共に考えるデザイン展 (運用基金事業)

遊ぶことから発見し、創造する力、考える力を育てていくための参加・体験型デザインイベント「新しいカタチ FANTASIA!」を、キッズプラザ大阪と共催で開催しました。

これはNHK教育番組(1967～1990)の工作・造形指導をされていた造形作家、枝常弘さんの工作の世界・歴史・子ども観に焦点を当てて行った。

車や絵本などが作れるワークショップで作品作りに熱中する親子や、巨大牛乳パック型すべり台や展示されているおもちゃなどを楽しむ子どもなど、工作を通じて、子ども同士や家族でのふれあいが見られた。

また、9月2日(日)以降もショーケース(ATC・ITM棟10階)にて展示のみを行った。

1. 実施時期 平成24年8月29日(水)～9月1日(土)の4日間
2. 実施場所 ATC・ITM棟10階 サンセットホール
3. タイトル 新しいカタチ FANTASIA!
4. 参加費 無料(ワークショップは有料)
5. 参加者 630人

(6) SOCIAL DESIGN CONFERENCE 2013 への参画

「エコ・プロダクツデザインコンペ」がこれまで4年間実施されたが、これに代わる新たな事業として、BOP、エコデザイン、地域創生、震災復興など、サステナブルな社会創生を目指して、今、私たちが取るべき行動指針を語り合う SOCIAL DESIGN CONFERENCE の2回目が開催された。

当センターは実行委員会に参加して、運営に協力した。

- ・ 名 称 SOCIAL DESIGN CONFERENCE 2013
- ・ 統一テーマ 「2033年の日本を描くグランドデザイン」
- ・ 開催日時 平成25年2月10日(日)、2月26日(火)、3月3日(日)、
3月23日(土)、3月30日(土)
前半3日間は 13時～18時 後半2日間は 15時～20時

- ・ 場 所 前半3日間は東京ミッドタウン・デザインハブ、
後半2日間はATC デザイン振興プラザ
- ・ 参加費 フォーラム 4,000円 展示見学 無料
- ・ モデレーター ムラタ チアキ他
- ・ パネリスト 中西元男、谷口正和 他多数
- ・ 講演・トークショー参加者数 49名

(7) 大阪デザインサロンの実施 (大阪デザイン団体連合 主管)

ODC がデザイン関係者の交流を図り、情報発信できる場を持つため、21年度から「ODC 交流サロン」を4回実施してきた。

大阪デザイン団体連合USD-0も同趣旨のサロンの開催を各デザイン団体に呼びかけており、それに賛同する形で、協議、支援を図った。

24年度には大光電機㈱の協力を得て、2回開催し、現在はうめきたのナレッジサロンでの展開を図っている。

第1回 大阪デザインサロン

- ・ とき 平成24年2月1日(金) 19:00～21:00
- ・ 場所 大光電機㈱ ライティング・コア大阪
- ・ テーマ 大阪市営交通のデザイン
- ・ 参加者 35名

第2回 大阪デザインサロン

- ・ とき 平成24年3月8日(金) 19:00～21:00
- ・ 場所 大光電機㈱ ライティング・コア大阪
- ・ テーマ デザインの力で行政を変える
- ・ 参加者 30名

(8) デザイン事務所データベースの整備と運用管理

ビジネスマッチングに活用するために、在阪を中心とするデザイン事務所データについて、得意分野・開発事例など関連情報を収集の上、利用者のニーズに応じて活用した。また、登録デザイン事務所に対して、関連するイベント・セミナー等の情報を提供した。

○登録デザイン事務所数

- ・ ビジュアルデザイン分野 261社 (前年度は229)
- ・ プロダクトデザイン分野 102社 (前年度は95)
- ・ スペースデザイン分野 51社 (前年度は47)

4. 国際的なデザイン交流

国際デザイン交流協会の理念を受け継ぎ、国際的なデザイン交流を進めた。

(1) シンポジウム 「アメリカのデザインの今 ―世界のデザインの潮流―」 の開催
(財) JKA 補助事業予定)

世界のデザイン潮流を見る場合、大きな源流はアメリカのトレンドである。アメリカの東海岸のデザインマーケットの状況、デザイン教育の内容、日米のデザイントレンドの異同、ソーシャルデザインの動きなどをお伝えした。

- ・ 開催日時 平成 25 年 1 月 18 日(金) 午後 1 時 30 分から 4 時 30 分まで、
- ・ 場 所 大阪市立中央図書館 5 階大会議室
- ・ 参加者 212 名
- ・ 参加費 無料

デザイナーは単なるデコレーターではなく、クライアントが抱えている課題を理解する必要がある。

マーケティングやマネージメントと連動してモノづくりの本質を押さえ、消費者にとって魅力ある商品にして行く必要があるとの内容であった。

(2) 国際交流 (受入)

パリ市とのデザイナー交流に加えて、広東省政府 (4/9)、ソウル産業通商振興院 (5/31)、インド総領事館(10/9)、デンマーク大使館(11/7)が来訪され、デザインに関わる情報交換と、施設案内を行った。

5. 各種委員会の開催

(1) 事業評価委員会の開催

当財団では、(財) JKA から補助金を得て 4 件の事業を実施したが、(財) JKA では、「補助事業実施に関する事務手続要領」において、補助事業の透明性、効率性を確保するため、補助事業者の「事前評価」「事後評価」を求めている。事後評価に当たっては、補助事業者の内部評価だけではなく、評価の客観性を担保するため、外部有識者で構成する評価委員会の設置を平成 22 年度から求められた。

そのため、24 年度も (財) JKA の補助事業等を評価する (財) 大阪デザインセンター事業評価委員会を設置し、3 名の評価委員 (竹川智子株式会社フラン代表取締役、羽原清明大阪デザイン団体連合監事、山内勉福井工業大学教授) を委嘱し、平成 25 年 4 月 1 日 (月) 午後 3 時から (財)大阪デザインセンター会議室で委員会を開催した。

委員会では、委員長に竹川智子氏を選出した後、評価の検討に入った。

①デザイン就職支援、②デザイン・ビジネス塾、③デザイン・マネジメント研究会、④デザイン・シンポジウムの開催 について事業概要や参加者アンケート、事後評価書等を説明した。

委員から、達成度評価の基準について、定員を満たしているものは評価し、少ないも

のは点数を下げるべきだ、外的要因で広報冊子が作成できなかったのは残念だが点数は複数項目でそろえるべきだ、デザイン就職支援事業は維持・拡大して欲しい、等の意見が出され、これを反映して、JK Aに提出した。

(2) (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会

国デ協の継承資産については、(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会(構成:大阪府、大阪市、大阪商工会議所、近畿経済産業局の役職員の中からそれぞれ1名を理事会の同意を得て理事長が委嘱する。)で、引継がれた財産の管理や同財産をもって行う事業に関し、理事会に提出する収支予算、事業計画などについて審議を行うこととなっている。

運営委員会を平成25年1月25日(金)に開催し、一般財団化に伴うJDF継承資産の活用、公益目的支出計画を審議し、3月26日(火)には理事会に提出する平成25年度の事業計画と予算案などを集約した。

6. 新公益法人への移行について

平成24年12月17日(月) 新公益法人移行に向けた第4回実務者会議

公益目的支出計画、一般財団化のための認可申請内容

平成25年1月29日(火) 臨時理事会、臨時評議員会

①一般財団法人への移行を決定 ②最初の評議員の選任方法を決定

③定款変更概要案 ④公益目的支出計画概要案

平成25年2月4日(月) 最初の評議員の選任方法を旧主務官庁に認可申請

平成25年2月12日(火) 旧主務官庁から最初の評議員の選任方法を認可

平成25年2月22日(金) 最初の評議員選定委員会で最初の評議員を選定

平成25年3月28日(木) 定例理事会、評議員会

①最初の評議員を選任 ②最初の代表理事と評議員を記名した定款変更確定 ③平成25年度予算 ④公益目的支出計画確定

平成25年4月26日(金) 一般財団法人への移行認可申請済み(大阪府知事へ)

7. デザイン団体支援事業

大阪デザイン団体連合をはじめ、(社)日本インダストリアルデザイナー協会関西ブロック、(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部、(社)日本商環境設計家協会関西支部、日本デザイン・ソサエティ、AP~N 熟年女性デザイナー協会からの委託を受け、各団体の事務局業務を推進し、各団体の支援に努めた。

8. その他事業

(1) 賛助会員の加入促進

センターの財政基盤の強化を図るため、市内デザイン事務所を中心に積極的な加入勧奨に努めたが、経済情勢の悪化により会員数は減少した。

○ 賛助会員数 138 社（前年度は 146）

(2) 商工経済団体との連携強化

大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、大阪府商工会連合会、大阪市工業会連合会及び大阪卸商連盟など商工経済団体との連携の下、諸事業の推進と PR に努めた。

(3) デザイン関連事業の後援、協賛状況

デザイン関連諸事業に対して、後援 12 件(前年度は 12)を行った。

(内訳)

開催日	名称	団体名	区分
平成24年5月25日 ～27日	ツムテンカク2012	ツムテンカク実行委員会	後援
平成24年6月9日 ～25年6月8日	JIDA60周年記念事業	(社)日本インダストリアルデザイナー協会	後援
平成24年6月13日 ～15日	SIGN EXPO2012	近畿屋外広告美術組合連合会	後援
平成24年6月下旬 ～12月末	第9回”若者によるエコ・メッセージ“ポスターデザイン公募	地球環境関西フォーラム	後援
平成24年7月14日 ～22日	Kawaii Zakka展覧会	Kawaii Zakka展覧会実行委員会	後援
平成24年9月7日 ～ 10月6日	U-30 30歳以下の若手建築家7組による建築展・記念シンポジウム	特定営利法人アートアンドアーキテクトフェスタ	後援
平成24年7月14日、12月1日	JIDセミナー	(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部	後援
平成24年10月14日 ～28日	「リビング&デザイン」	(株)L&D	後援
平成24年11月16日	デザイナーズアクセス2012	(社)日本商環境設計家協会関西支部	後援
平成25年1月22日	JCD連続デザインシンポジウム	(社)日本商環境設計家協会	後援

平成25年2月16日 ～21日	2013大阪工芸展	(社) 大阪工芸協会	後援
平成25年3月30～ 31日	コミックアートフェスタ2 0 1 2	大阪総合デザイン専門学 校	後援